

市史編さんの1コマ



No. 3

第1回曾於市史編纂専門部会（中世・近世編）を開催（令和8年3月8日）

部会長の新名一仁先生をはじめ、中世・近世編における各分野の先生方（委員構成は市史編纂だより第2号をご覧ください）が、章立てや分担案を話し合われました。令和8年度の秋頃に2回目の専門部会を開き、各先生が担当される分野のより具体的な章立て案を持ち寄り協議されることが確認されました。



令和8年度第1回市史編集委員会（通算3回目）を開催（令和8年5月28日）

今回の編集委員会の議題では、特に「行政史」という分野の執筆者について委員の先生方から意見が出されました。現在、行政史執筆者の選定について難航している状況にあります。執筆者を選定できない場合は民間業者に委託するという方法もあり、それぞれのメリット・デメリットが意見として出されました。



令和8年度第1回市史編纂委員会（通算5回目）を開催（令和8年5月28日）

編集委員会に引続き行われた編纂委員会では、特に市史編纂事業への「市民参画をいかに促進するか」について委員より意見が出されました。市民参画希望者数が停滞している現状について、子どもを対象に郷土史クラブがあったらどうか、専門部会の先生方と子どもたちが触れ合う機会の創出、時代に合った思い切ったPR方法の検討などが意見としてあげられました。

コラム 市史編纂係の仕事 その① 情報整理・入力作業

令和8年度より教育委員会生涯学習課内に市史編纂係が新設されました。現在、どのような仕事をしているのか、皆さんの目に触れることのない仕事の一部をご紹介します。

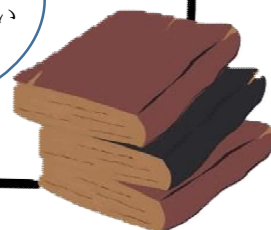


市役所には、旧3町時代から現在までに刊行された広報誌が保管されています。これらの記事のタイトル一つ一つを拾いあげ、パソコンへ入力する作業を進めています。

こうすることで、いつ、どのような出来事があったのかを素早く検索できるようになります。膨大な量のデータと向き合う、たいへん根気がいる作業ですが、市史を編纂するうえで欠かせない仕事のひとつです。



担当者からひと言
大変ですが、昔の曾於市のことが知れて面白いです！



「広報すえよし」平成2年1月号